



※令和4年度入試につきまして、新型コロナウイルス感染症禍等の状況により、今後変更等を行うことがあります。
その際には、本学ホームページに掲載しますのでご確認いただきますようお願い致します。

令和4年度 尚絅大学・尚絅大学短期大学部入試日程

総合型選抜（第1回・第2回）

区分	実施学部・学科	出願期間	選考日	合格発表	入学手続期限
<第1回>	現代文化学部 短期大学部 総合生活学科 食物栄養学科 幼児教育学科	令和3年9月1日(水)～9月15日(水)	武蔵ヶ丘キャンパス:10月2日(土) 九品寺キャンパス:10月3日(日)	11月1日(月)	11月15日(月)
<第2回>		令和3年12月1日(水)～12月10日(金)	12月18日(土)	12月24日(金)	令和4年1月11日(火)

※幼稚教育学科のみ武蔵ヶ丘キャンパスで実施

学校推薦型選抜（指定校・一般・併設校）・社会人選抜・外国人留学生選抜選考日程

区分	実施学部・学科	出願期間	選考日	合格発表	入学手続期限
学校推薦型選抜 (指定校・一般・併設校) 社会人選抜／外国人留学生選抜	現代文化学部・生活科学部 ※生活科学部は外国人留学生選抜の実施なし	令和3年11月1日(月)～11月11日(木)	11月20日(土)	12月1日(水)	12月15日(水)
	短期大学部 全学科		11月21日(日)		
学校推薦型選抜地方会場 (指定校・一般) 【福岡市・鹿児島市・宮崎市】	全学部 全学科	令和3年11月1日(月)～11月5日(金)	11月13日(土)		

編入学選抜選考日程

実施学部・学科	出願期間	選考日	合格発表	入学手続期限
生活科学部	令和3年12月1日(水)～12月10日(金)	12月18日(土)	12月24日(金)	令和4年1月11日(火)

《取得免許・資格》
 現代文化学部 文化コミュニケーション学科／司書（国家資格）、社会調査士、プレゼンテーション実務士、観光実務士、日本語教師（大学認定）
 生活科学部 栄養士免許（国家資格）、管理栄養士国家試験受験資格、栄養教諭一種免許状、食品衛生監視員（任用資格）、食品衛生管理者（任用資格）、フードサイエンティスト
 短期大学部 総合生活学科／秘書士、上級秘書士（メディカル秘書）、情報処理士、社会福祉主事（任用資格）、介護職員初任者研修課程資格、レクリエーションインストラクター、食生活製菓マスター（大学認定）
 食物栄養学科／栄養士免許（国家資格）、食品衛生監視員（任用資格）、食品衛生管理者（任用資格）、フードサイエンティスト、社会福祉主事（任用資格）、栄養製菓マスター（大学認定）
 幼児教育学科／幼稚園教諭二種免許状（国家資格）、保育士（国家資格）、社会福祉主事（任用資格）

尚絅大学・尚絅大学短期大学部 Web個別入試相談会

尚絅大学入試センターでは、高校生・保護者そして学校の先生方に尚絅の学びや入試についての説明や質問を受け付けるためWeb個別入試相談会を開設しました。

個別相談で「尚絅」の魅力をお伝えできればと思います。お気軽にご相談ください。

申し込み：本学ホームページWeb個別入試相談会申込ページから必要事項をご記入ください。

※相談を希望される前日までにお申込みください。

（月曜日の場合、金曜日の12時までにお申込みを行ってください。）

おひとりでも、お友達や先生、ご家族と一緒にでも相談可能です。

使用アプリ：Google Meet・Zoomアプリを使用します。事前にインストールをお願いします。

時間：平日の9:00～17:30の間が対応可能です。

その他電話・メールでの個別相談もお申込みいただけます。詳細は、本学ホームページをご確認ください。



【お問い合わせ先】 入試センター TEL:096-273-6300 FAX:096-273-6781 E-mail:nyushi@shokei-gakuen.ac.jp

後塞

コロナウイルス感染症が収束しない中、昨年度に引き続き、人々の生活様式が新しい生活様式へと変化している。尚絅学園は、学生、生徒、園児が安全に学習や活動を行うことができる体制づくりに努めている。各設置校については行事やイベントなどを臨機応変に開催方法を工夫して実施している。コロナ禍のなかでも新しい生活様式を遵守し素敵な学園生活を送れるよう心から願う。 (M.K)

○皆様のご意見・ご感想をお寄せください。 編集・発行/尚絅学園 編集スタッフ/黒瀬英夫、新納ゆりか、甲斐実織、田中克典、山田亜美、増本紗希

〒862-8678 熊本市中央区九品寺2丁目6-78 TEL.096-364-0116 FAX.096-363-6520 メールアドレス koho@shokei-gakuen.ac.jp

尚絅大学・
尚絅大学短期大学部
ホームページ



尚絅中学・
尚絅高等学校
ホームページ



尚絅大学・尚絅大学短期大学部
LINE
入試情報や本学に関するさまざまな最新情報をLINEでお届けします。
ぜひ友だち登録をしてください。



ID : @shokei-univ

学校法人
尚絅学園
SHOKEI

熊本市中央区九品寺2-6-78 TEL.096-364-0116 尚絅学園 検索

基礎 尚絅学園広報誌

ISHIZUE

2021年 春夏号
Vol. 35

尚絅学園キャラクター
「花くま」

Vol.35 CONTENTS

特集	P1 - P2
尚絅大学 尚絅大学短期大学部	P3
尚絅中学校 尚絅高等学校	P4
尚絅大学短期大学部附属こども園／寄附者芳名録	P5
令和2年度決算の概要と事業報告／令和3年度事業計画	P6 - P9
インフォメーション	P10
入試日程	裏表紙

 尚絅学園
SHOKEI



新校舎紹介 (九品寺キャンパス大学7号館)



2F 7201号室(大教室)



3F 7302号室(中教室)



3F 7306号室(小教室)



3F 会議室

九品寺キャンパスでは、大学7号館が完成し、令和3年4月より、授業が始まりました。7号館は、鉄筋コンクリート造5階（一部3階）建てとなっており、1階にはグローバルラウンジ、ラーニングコモンズなどの共有スペースの他、学生がクラブ・サークルの部室として使用するクラブ室7室、カウンセリングルーム、和室などがあります。2階には広々とした学生ホールと大教室（席数200）を備え、3階には小教室4室、中教室3室、ラウンジの他、会議室から構成されており、4階及び5階には教員の研究室が計24室及びラウンジとミーティングルームを併設しています。また各階のトイレにはパウダールームを設置し、最新の施設・設備を備えています。



竣工式

令和3年1月21日竣工式を執り行いました。

施設紹介



1F グローバルラウンジ

グローバル化推進センターを配置し、外国語教育の充実と強化、海外協定大学との国際交流の促進を担う場です。また、留学生・外国語教員をはじめ、学生及び中高生徒の交流の場として活用されています。



1F ラーニングコモンズ

学生一人ひとりの主体的な学びを支援し、グループ学修をすることができる学びの場です。パソコンを設置しているので情報通信環境も充実しています。



2F 学生ホール

パソコン等を設置した学生ホールは、学生が終日交流する中心的スペースとなっています。中高生徒も利用可能なホールです。
※現在はコロナウイルス感染症予防としてアクリル板を設置しています。



1F 和室、ロッカールーム

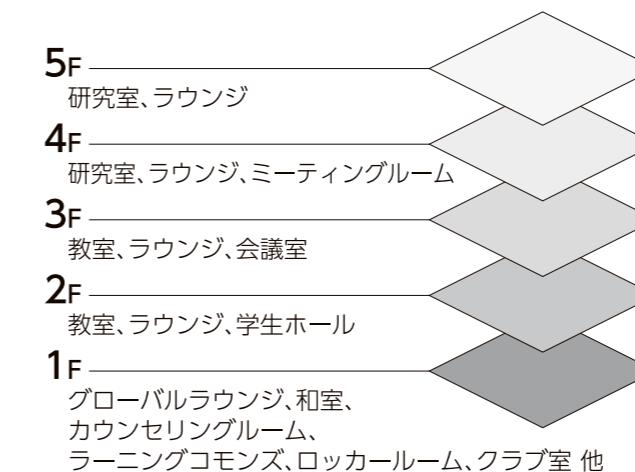


各階パウダールーム



3, 5F ラウンジ

各フロア紹介



**尚絅大学 現代文化学部
文化コミュニケーション学科は
九品寺キャンパスへ移転しました**

令和3年2月に尚絅大学 現代文化学部 文化コミュニケーション学科は九品寺キャンパスへ移転しました。

移転により各学部・学科間の合同授業や交流、尚絅中学・高校との連携がより活発となり、教育研究の更なる前進が期待できます。

熊本市中心部ということもあり、通学の利便性も大きく向上し、通学可能な地域もさらに広がります。

また、企業や官公庁、商業施設にも近く、学修活動のなかで地域との連携協力をさらに進めていくことが可能です。



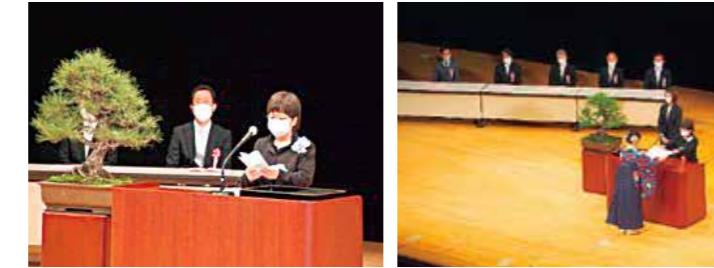
尚絅大学 尚絅大学短期大学部

卒業式

令和2年度尚絅大学・尚絅大学短期大学部卒業式を令和3年3月24日(水)熊本県立劇場演劇ホールにて挙行し、大学生117名、短期大学部学生230名、合計347名が卒業しました。

昨年は新型コロナウイルス感染拡大の影響によりやむなく中止しましたが、今年は厳格な感染拡大防止対策のもと、出席者の制限及び規模を縮小(時間短縮)して実施しました。

また、式典では、建学の精神を体し、学業成績が優秀で品行方正な卒業生に対して育英褒賞授与も行われ、各学部・学科から推薦された5名の卒業生が受賞しました。



入学式

4月5日(月)に令和3年度尚絅大学・尚絅大学短期大学部合同の入学式を行いました。

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、参加者を新入生及び教職員のみとし、メイン会場である1号館10階で行われた式典を学部学科ごとに6会場にわけて遠隔による映像配信で実施しました。大学生123名、大学編入7名、短期大学生293名の合計423名が新たなスタートを切りました。



尚絅食育研究センター

熊本の郷土料理の啓発活動を行いました！



熊本の食文化への理解を深めることを目的に、県内各地に伝わる郷土料理のポスター展示及び郷土料理の認知度や食経験についてのアンケート調査を実施しました。

「知らない料理がたくさんあった。」「もっと郷土料理について学びたいと思った。」などの感想が聞かれました。

尚絅ボランティア支援センター

「フードバンク熊本」に食料品を寄付しました



尚絅ボランティア支援センターでは、令和3年1月25日(月)、生活に困った人たちやひとり親世帯、福祉施設などに食品を配布する活動を行っている「フードバンク熊本」に食料品142個を寄付しました。

今回の食料品は、尚絅大学・尚絅大学短期大学部に属する学生、教職員の寄付により集められました。

尚絅ボランティア支援センターでは、引き続き「フードバンク熊本」を通じた支援活動を行う予定です。

尚絅地域連携推進センター

くまモン学の冊子ができました！



令和2年9月にスタートしたくまモン学プロジェクトから、「くまモン学はじめます」という冊子を令和3年3月に発行しました。本冊子は、山縣学長、くまモンの生みの親である小山薰堂氏、水野学氏、蒲島郁夫熊本県知事との座談会の模様のほか、くまモンの歴史、くまモン学の概要といった記事が掲載されており、非常に充実した内容になっています。図書館、自治体などさまざまな公共施設に配布していますので、ぜひ手にとってご覧ください。

尚絅子育て研究センター

乳幼児保育研究会＆保育cafeについて



尚絅子育て研究センターでは、毎年、保育の質向上をめざして、現場の保育者をはじめ関係者の皆様とともに「乳幼児保育研究会」を実施しています。令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、全6回の開催となりました。

令和3年度については、感染症対策を行いつつ、毎月第4水曜日の14時～16時(6月第5・2月第3水曜日)に全12回で開催予定です。研究会終了後は、少人数で保育cafeも開催し、保育の悩みやさらに深めたい保育の話題についてざっくばらんに話し合っています。いずれも、明日への保育実践に活かせるよう取り組んでいます。

尚絅中学校 尚絅高等学校

コロナ禍で、体育祭や文化祭など多くの学校行事を中止せざるを得ませんでしたが、令和3年3月23日(火)に学年ごとに以下の行事を行いました。それぞれの場所でクラスメイトとの時間を楽しみ、仲間との絆を深めることができました。

高1学年行事・高2修学旅行代替行事

高校2年生は修学旅行の代替行事としてクラスごとに日帰り旅行を、高校1年生は百人一首大会後に各クラスごとのレクレーションを行いました。高2は各クラスでオリジナルのプランを立て、福岡の太宰府天満宮や大分のうみたまご、県内は阿蘇ファームランドやグリーンランドなどに行ってきました。



中1・2年校外学習・中3クラス旅行

中学1・2年生は監物台植物園と熊本市博物館見学に行きました。監物台では理科の本田先生にそれぞれの樹木の説明をしてもらいながら園内を巡り、博物館では展示やプラネタリウム見学を楽しみました。

中学3年生は、1泊2日のクラス旅行で大分へ行きました。一日目は湯布院の散策と安心院のアフリカンサファリでジャングルバスから園内見学をし、二日目は別府の地獄めぐりとうみたまご・高崎山見学を楽しみました。



卒業式

万全なる感染症予防対策のもと、令和3年3月1日(月)10時より尚絅アリーナにて高校の「第73回卒業証書授与式」を挙行しました。卒業生176名は保護者の皆様と学校関係者に見守られ、厳かで温かい雰囲気の卒業式となりました。

また、3月17日(水)には中学3年生の卒業証書授与式を教室で行いました。高校でも本校での学びは継ぎますが、義務教育を終える大きな成長の節目を迎える記念の日となりました。



入学式

令和3年度尚絅中学・高等学校の入学式を行いました。今年度の入学式は、昨年に引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から短縮した形で、在校生のギター・マンドリン部による国歌演奏、入学許可宣言、校長式辞、新入生代表宣誓が行われました。新入生代表宣誓では、中学校、高校それぞれの新入生代表が堂々と宣誓を読み上げました。式の最後には、再びギター・マンドリン部による校歌演奏が行われ、新入生にとっては尚絅中学・高等学校への入学を実感するひとときになったと思います。



「熊本地震発生から5年～私たちの未来～」コンサートに出演

令和3年4月11日(日)に市民会館で行われたコンサート「熊本地震発生から5年～私たちの未来～」に、本校生徒たちが出演しました。

邦楽器の演奏や「私たちの未来」をテーマに全国の青少年から寄せられた671篇の文芸作品から選ばれた優秀作・入選作が女優の宮崎美子さんの朗読で披露されました。

本校生徒たちの合唱、「光さす肥後へ」は、平成30年に優秀作品に選ばれた詩で、当時尚絅高校2年特進クラスの生徒たちが自ら作詞、作曲したものでした。熊本地震を経験した先輩方の思いを胸に、本校合唱部と有志が心を込めた歌声は、会場の皆さんに大きな感動を贈ることができました。





尚絅大学短期大学部附属こども園

修了証書授与式(卒園式)

令和3年3月17日(水)に令和2年度の修了証書授与式(卒園式)を行いました。新型コロナウイルス感染防止のため、ほし組、つき組、にじ組の順にクラス毎に3回に分け、卒園児以外の在園児は参加せず、ディスタンスをとって実施しました。

園長から園児一人一人に「おめでとうございます」の言葉を添えて修了証書が手渡され、それぞれが神妙な面持ちで「ありがとうございます」のお礼の言葉とともに証書を受け取りました。

今年度は、89名の園児達が本園を卒業して行きました。コロナ禍の中でも、元気に伸び伸びと園での生活を過ごすことができ、小学校でも健やかに成長してくれることを祈っています。

入園式

令和3年4月13日(火)に令和3年度の入園式を行いました。

式には、今年度入園の91名と昨年度途中入園の4名の95名とその保護者が出席しました。今年度も昨年度と同様に新型コロナウイルス感染防止のため、保護者の入場も1家族1名にお願いし、式次第も園長祝辞と0歳から年長までの各クラス担任の紹介のみとし、短時間での開催となりました。園児達は緊張の中にも、園長が祝辞の中で行った「ぞうさん」と「オラフ」の人形劇にリラックスして笑顔も見られました。楽しい園生活のスタートがきれることを期待しています。

ひな祭り

こども園では、毎年、7段飾りのひな人形を職員室前の廊下に飾っています。園児達は、その前を通る度に興味津々な様子です。ひな人形の前で、担任の先生からそれぞれの人形の名前や持ち物の意味・役割についての話を聴いたり、ひな祭りの歌と一緒に歌ったりしています。

また、一人ずつひな人形の作品を作って教室の壁に飾りました。そして、ひな祭り当日には、白洒(実はカルピス)を皆で一緒に飲み、給食では雑あられをいただきました。



「尚絅学園創立130周年記念募金」～教育・研究の施設、設備充実のための募金～の報告とお願ひ

寄附者芳名録

令和2年11月1日～令和3年4月30日現在

ご寄附をいただきました方々のご協力に感謝し、ご芳名を掲載させていただきます。

寄附金内訳			
個人・法人・企業等 2件 / ¥400,000	現旧 役員・教職員 2件 / ¥450,000	合計 4件 / ¥850,000	
卒業生・現旧役員教職員・個人・法人・企業 (順不同)			
光多制服様	森下 ひろ子様	池満 淵様	坂田 敦子様

「尚絅学園古本募金」

「尚絅学園古本募金」は、取引集荷・査定換金・募金送金の運営を「古本基金きしゃぽん」(運営:嵯峨野株式会社)に委託して実施しています。皆様からのご支援をお待ちしております。

尚絅学園古本募金状況について

令和2年11月1日～令和3年4月30日現在

ご寄附をいただきました方々のご協力に感謝し、寄附金状況をご報告させていただきます。

寄附金内訳		
個人・法人・企業等 4件 / ¥6,973	現旧 役員・教職員 0件	合計 4件 / ¥6,973

〈WEBで申込む〉 尚絅学園 古本募金

〈電話で申込む〉 ☎ 0120-29-7000

Kishapon.com/shokei-gakuen/ (受付)24時間・365日

オペレーターに団体ID [172]とお伝えください。(受付)9時～18時・365日

【お申込みと集荷について】電話またはWEBからお申し込みいただくだけで、ご指定の時間にご自宅まで宅配業者が受け取りに伺います。

5冊(5点)以上であれば送料無料です。



学校法人尚絅学園 令和2年度決算の概要

1. 決算の概要

学校法人尚絅学園の令和2年度決算は、令和3年5月25日開催の理事会において承認・議決され、同日開催の評議員会に報告されました。また、監事及び監査法人の承認を得ております。以下、その内容についてご説明いたします。

(1)資金収支計算書 資金収支計算書は、当該年度の教育研究活動に対応するすべての資金の収入及び支出の内容を明らかにして、支払資金の収入及び支出の額末を明らかにしています。

資金収支計算書要約 令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位:百万円)

資金収入の部	令和2年度	前年度	増減	資金支出の部	令和2年度	前年度	増減
学生生徒等納付金収入	1,389	1,364	25	人件費支出	1,482	1,462	20
手数料収入	22	24	△ 2	教育研究経費支出	441	322	119
寄付金収入	4	3	1	管理経費支出	147	127	20
補助金収入	760	652	108	借入金等利息支出	2	0	2
資産運用収入	1	1	0	借入金等返済支出	0	0	0
資産売却収入	0	0	0	施設関係支出	991	423	568
事業収入	3	6	△ 3	設備関係支出	152	102	50
雑収入	47	65	△ 18	資産運用支出	101	202	△ 101
借入金等収入	600	0	600	その他の支出	89	150	△ 61
前受金収入	502	471	31	資金支出調整勘定	△ 52	△ 67	15
その他の収入	263	507	△ 244	支出の部小計	3,353	2,721	632
資金収入調整勘定	△ 523	△ 494	△ 29				
前年度繰越支払資金	866	987	△ 121	次年度繰越支払資金	581	866	△ 285
収入の部合計	3,934	3,585	349	支出の部合計	3,934	3,585	349

資金収支計算書の収入の部において、学生生徒等納付金収入は1,389百万円となり、前年度比25百万円増加しました。また、補助金収入は760百万円を計上し、前年度比108百万円増加しました。

支出の部では、人件費支出は1,482百万円であり、前年度比20百万円増加しました。教育研究経費支出は441百万円で前年度比119百万円増加、管理経費支出は147百万円で前年度比20百万円増加しました。

補助金収入における増加要因は、高等教育修学支援に係る補助金の増加によるもので、これに伴い教育研究経費の奨学費支出も増加しております。また、施設関係支出は991百万円となり、前年度比568百万円増加しました。これは、九品寺キャンパス大学7号館の建設によるものです。

以上の結果により、次年度繰越金は581百万円となり前年度比285百万円減少いたしました。

(2)事業活動収支計算書 事業活動収支計算書は、当該年度の事業活動収入と事業活動支出の内容、収支状況を明らかにして、学校法人の経営状況が健全であるかどうかを示しています。

事業活動収支計算書要約 令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位:百万円)

事業活動収入の部	令和2年度	前年度	増減	事業活動支出の部	令和2年度	前年度	増減
(教育活動収入計)	(2,228)	(2,114)	(114)	(教育活動支出計)	(2,477)	(2,313)	(164)
学生生徒等納付金	1,389	1,364	25	人件費	1,473	1,448	25
手数料	22	24	△ 2	教育研究経費	818	698	120
寄附金	3	1	2	〔内奨学費〕	(179)	(80)	(99)
経常費等補助金	758	652	106	〔内減価償却額〕	(377)	(376)	(1)
付随事業収入	3	6	△ 3	管理経費	186	168	18
雑収入	52	67	△ 15	〔内減価償却額〕	(28)	(29)	(△ 1)
(教育活動外収入計)	(1)	(1)	(0)	(教育活動外支出計)	(2)	(0)	(2)
受取利息・配当金	1	1	0	借入金等利息	2	0	2
(特別収入計)	(8)	(7)	(1)	(特別支出計)	(0)	(0)	(0)
現物寄付等	8	7	1	資産処分差額	0	0	0
事業活動収入計	2,236	2,122	114	事業活動支出計	2,478	2,313	165
				基本金組入前当年度収支差額	△ 242	△ 191	△ 51
				基本金組入額	△ 532	△ 525	△ 7
				当年度収支差額	△ 774	△ 716	△ 58

事業活動収支計算書の収入の部、支出の部については、資金収支計算書の収入の部、支出の部と同様の項目が多く含まれています。令和2年度の事業活動収支計算書における特徴的なものは、経常費等補助金のうち高等教育修学支援に係る補助金の増加を主要因とした事業活動収入が前年度比114百万円増加したことに対し、教育研究経費のうち高等教育修学支援に係る奨学費の増加を主要因とした事業活動支出が前年比165百万円の増加となりました。

その結果、教育活動収支差額は△249百万円となり、前年度比50百万円減少しました。同様に基本金組入前当年度収支差額は△242百万円となり、前年度比51百万円減少しました。



令和2年度決算の概要と事業報告

(3)貸借対照表 貸借対照表は、一定時点(決算日)における資産、負債、基本金の内容と在庫を明示して、学校法人の財政状況を明らかにしています。

貸借対照表 令和3年3月31日

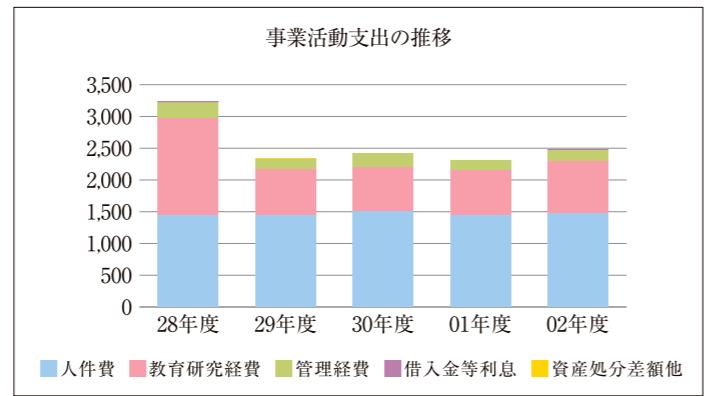
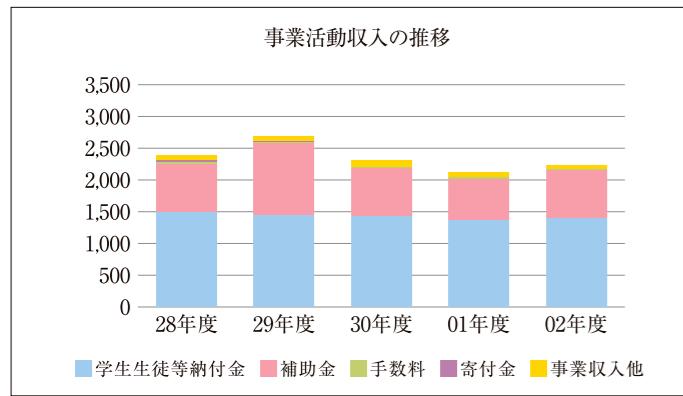
資産の部		(単位:百万円)			負債の部		(単位:百万円)		
科 目	本年度末	前年度末	増 減	科 目	本年度末	前年度末	増 減		
固定資産	10,381	9,745	636	固定負債	1,141	582	559		
有形固定資産	8,770	8,037	733	長期借入金	800	200	600		
土地	1,023	1,023	0	退職給与引当金	288	303	△ 15		
建物	6,019	5,001	1,018	長期未払金	53	79	△ 26		
構築物	356	276	80	流动負債	616	584	32		
教育研究用機器備品	392	350	42	短期借入金	0	0	0		
管理用機器備品	38	38	0	未払金	73	76	△ 3		
図書	931	920	11	前受金	502	471	31		
車両	12	15	△ 3	預り金	41	37	4		
建設仮勘定	0	412	△ 412	災害損失引当金	0	0	0		
その他の固定資産	1,611	1,709	△ 98	負債の部合計	1,757	1,166	591		
有価証券	20	20	0						
退職給与引当特定資産	550	550	0						
減価償却引当特定資産	100	100	0						
施設設備引当特定資産	726	826	△ 100						
第3号基本金引当特定資産	176	176	0						
施設設備寄附金引当特定資産	12	11	1						
流動資産	659	946	△ 287						
現金預金	581	866	△ 285						
未収入金	52	58	△ 6						
有価証券	0	0	0						
仮払金他	27	22	5						
資産の部合計	11,040	10,692	348						
負債及び純資産の部合計	11,040	10,692	348						

令和2年度末における固定資産(土地・建物・機器備品・特定資産他)と流動資産(現金預金・未収入金他)を合わせた資産の部合計は11,040百万円で、建物や教育研究用機器備品の償却を行った上で、九品寺キャンパス大学7号館建設等により、前年度末と比べて348百万円増加しました。

一方、長期借入金等の固定負債と短期借入金及び未払金等の流動負債の合計額は1,757百万円となり、前年度末と比べて591百万円増加しました。これは長期借入金の増加が主な要因です。

事業活動収支の推移

収入の部		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
学生生徒等納付金		1,482	1,443	1,418	1,364	1,389
経常費等補助金		770	1,144	760	652	758
手数料		23	23	20	24	22
寄付金		35	6	4	8	3
付随事業収入+雑収入		72	66	104	74	55
事業活動収入計		2,386	2,802	2,317	2,122	2,236
基本金組入額合計		△ 25	△ 39	△ 75	△ 525	△ 532
支出の部		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
人件費		1,434	1,443	1,500	1,448	1,473
教育研究経費		1,528	733	696	698	818
管理経費		269	158	224	168	186
教育活動外支出		1	0	0	0	2
特別支出		0	4	0	0	0
事業活動支出計		3,232	2,338	2,420	2,313	2,478



2. 事業の概要

学校法人 尚絅学園

(1) 経営力の強化

- ①令和2年4月、私立学校法改正を踏まえ、学校法人尚絅学園寄附行為を改正し、理事・監事・評議員それぞれの責任・権限の明確化及び監事機能、理事会・評議員会機能の充実を図った。
- ②ガバナンス・コードを策定・公表し、大学機能の点検と業務改善に取り組んだ。
- ③各種規程と業務運用の点検・見直しにより、尚絅学園情報公開規程の制定、尚絅高等学校海外奨学金規程、尚絅学園事務組織規程の一部改正等を実施した。

(2) 強固な財務基盤の構築

- ①中期財務計画の進捗管理と検証に基づく厳格な財務運営の実現に努めた。
- ②学生生徒等納付金の見直しを行い、令和2年度入学生から大学・短大で年額50千円、中高で年額30千円の納付金値上げを実施した。
- ③補助金の獲得に積極的にチャレンジし、外部資金の獲得にも取組んだが、採択条件を全て満たすことは出来なかった。

(3) 人材育成の強化

- ①公平性・公正性・納得性のある人事評価の確立に向け、評価者訓練及びフィードバックの徹底に取り組んだ。
- ②全学的なSD-FDに取組み、資質・能力の向上に努めた。

(4) 施設設備及び教育・研究環境の充実

- ①令和3年1月、九品寺キャンパス内に大学7号館を新築し、現代文化学部を移転した。
- ②高度情報化やグローバル化及び新型コロナに対応するため、全学DX推進化プロジェクトを立ち上げると共に、ICTを活用した遠隔授業等学修環境の整備に努めた。

尚絅大学・尚絅大学短期大学部

(1) 教育と学修の充実

- ①建学の精神、教育理念に基づく自校教育の推進のため、全学科で「基礎セミナー」において自校教育を実施し、全学共通講科目として「熊本学」「日本伝統文化入門」を開講した。
- ②第3期認証評価システム(内部質保証)に関するPDCAサイクルの確立のため、自己点検・評価、授業改善アンケート、卒業生アンケート等を実施した。

(2) 学生の確保

- ①令和3年2月末に現代文化学部を九品寺キャンパスへ移転し、4月から新キャンパスでの授業開始ができるよう対応した。
- ②全学部において入学者選抜における評価を見直し、「学力の3要素」について多面的・総合的な評価が可能となる入試方法に取り組んだ。
- ③生活科学部に於ける新コース・資格等の導入の検討を行った。

(3) 学修環境の整備

- ①学生の身心の健康維持・向上のため、疲労蓄積度調査、及び学生生活実態調査を行い、心的疲労度の高い学生については、臨床心理士及び養護教諭と連携して対応した。
- ②新たな学生相談体制構築のため、他学の相談体制の調査を行い、キャンパスソーシャルワーカーの導入を決定した。

(4) 学生支援の充実

- ①中途退学防止に向け、予備軍の早期発見と情報共有を徹底し、必要に応じ面談等を実施した。
- ②リカレント教育の環境整備として、社会入学生奨学金(給付型)制度を新設した。

(5) 研究力の強化

- ①研究倫理の遵守のため、研究倫理に関する諸規程と研究倫理教育実施要領に基づく教育(eラーニング)の内容の確認及び、教職員各自の役割の確認を行った。
- ②各研究センターにおいて、特色のある取組みを積極的に実施し、着実な成果を挙げた。

(6) 社会連携の強化

- ①尚絅子育て研究センターにおいて、保護者の早期離職予防の相談支援や附属こども園子育て支援室との連携による地域子育て支援・相談の開催を実施した。
- ②尚絅食育研究センターにおいて、九州農政局と連携し食生活に関するパネルの展示やシールアンケートを実施した。
- ③尚絅地域連携推進センターにおいて、熊本県との共同事業として「くまモン学」をスタートさせた。

(7) 國際交流の体制整備と拡充

- ①国際交流に関する体制整備の強化として、グローバル化推進センターを開設し、九品寺キャンパス7号館内にグローバルラウンジを設置した。

(8) IR機能強化と自己点検・評価への適切な対応

- ①IR機能の強化のため、大学企画室機能の充実と強化に取組み、各種分析・進捗管理等を強化した。
- ②令和2年度の自己点検評価は、従来通り、9月外部評価委員会、10月理事会に報告した後ホームページ上に公表した。令和3年度からは、自己点検評価結果を次年度事業計画に反映させるため、5ヶ月程度前倒しのスケジュールで進めるよう取組みを開始した。

尚絅中学・高等学校

(1) 特色ある教育の確立

- ①グローバル教育の充実として、海外留学の代わりにオンライン留学に取り組んだ。
- ②礼法教育の確立のため「尚タイム」を毎週実施した。
- ③教科指導力向上のため、オンラインでの研修会参加や、教科会の充実に取り組んだ。
- ④授業改善のため、アクティブラーニングに積極的に取り組むとともに、ICT教育にも積極的に取り組んだ。
- ⑤進路指導力向上のため外部講師による進路指導研修の実施、ベネッセハイスクールオンラインの積極活用に取り組



令和3年度 学校法人尚絅学園事業計画書

I. はじめに

尚絅学園は平成25年に向こう10年間の学園の中長期計画として「長期ビジョン(将来像)と中長期行動計画」を制定し、その後、平成27年、平成29年及び令和元年の計3回の改定を行いながら、学園の将来像実現に向けて取り組んできました。今回、中長期計画の残余期間が2年となり、総仕上げに向けた諸課題に加え、環境変化に伴う、新たな課題にも対処していくかねばならないことから、第4回の改定を行いました。令和3年度事業計画を策定するにあたり、改定後の「長期ビジョン(将来像)と中長期行動計画」及び「中期財務計画」に基づき、具体的かつ明確な単年度事業計画を立て、一つひとつ確実に実行してまいります。

II. 主な施策

1. 学園全体・学校法人

本学園が教育研究機関として社会に支持され、社会に貢献し、学生等が充実した学校生活を送るためには、経営力の強化、強固な財務基礎の構築、人材育成の強化、施設設備及び教育・研究環境の拡充が必要不可欠です。

○経営力の強化

経営の規律と誠実性を維持しつつ、学園を取り巻く環境の変化に迅速に対応すべく、ガバナンス機能・組織マネジメント強化に取組みます。また、情報の積極的な公表を推進し、経営状況の可視化を進めていくことで経営力強化に努めます。

○強固な財務基盤の構築

安定した収支バランス確保のための施策を立案し、着実に実施することで、強固な財務基盤の構築が求められています。各設置校における定員充足の対策がしっかり講じられているか、学生等納付金の増強が図られているか、補助金の確実な獲得や適切な人件費支出、教育の質保障の向上に資する教育研究・管理経費等の妥当性など、予算執行の厳正な管理等が行われているか、一つひとつ着実に取り組んでいきます。

○人材育成の強化

人事・人材育成については、学園・設置校ごとに適正な人員数を確保しつつ、適材適所の人事を行い、多様化している学生・生徒等へ適切かつ的確な対応ができる人材育成を行います。有効的な研修や計画的なSD、FDに取組み、教職員の資質・能力向上及び業務の品質の向上の強化に努めます。

○施設設備及び教育・研究環境の拡充

中期施設設備計画に則り、教育・研究環境の拡充に努めるとともに、DX推進プロジェクトのもと、ICT環境やインフラ整備に取組みます。

2. 尚絅大学・尚絅大学短期大学部

令和3年度は、「長期ビジョン(将来像)と中長期行動計画」の第4回改定に則り、学園の持続的な発展に向けての重点施策及び具体策を立案し、着実に実施して参ります。

○入学定員の確保

本学の課題である入学定員の確保については若干改善されつつありますが、入学定員充足率100%を目指しさらに改善できるよう努めなければなりません。そのために、高校生及び社会のニーズを汲み上げながら、ニーズに応じた体制の整備と多様な学生の確保に努めるとともに、各学部・学科の独自性を生かした魅力度アップに取り組み、新型コロナウイルス感染症防止対策も考慮し、DX推進に基づく戦略的な広報活動を迅速に展開し、高大連携については協力体制を強化しながら、学生確保に尽力します。教育と学修においては、教育の質的転換による教育改革の推進として、学修成果の見える化やコロナ禍に対応した遠隔授業の経験を踏まえ、対面授業を基本にしつつ遠隔授業のよいところやDXなどを取り入れ、学修者にとって学修効果の得られる学修環境の整備に取り組みます。また、現代文化学部の九品寺キャンパスへの移転を生かした現代文化学部と本学全体の魅力づくりを推進します。こども教育学部(仮称)の設置については、新学部設置準備委員会および同部会を中心に全学部・全学科の協力のもと、年度内に設置認可申請書を提出する計画です。生活科学部では、学生と社会のニーズに合うコース設置をワーキンググループにおいて検討、年度内に構想を固め、次年度に広報できるよう準備をします。

○学生支援

学生支援については、学修支援センター、就職・進路支援センターや学生支援委員会等の活動を一層充実させ、特にコロナウイルスの影響を考慮し、DXを活用した就職指導の強化ならびに大学7号館新築・現代文化学部移転を契機としたクラブ・サークルの活性化に取組み、さらに学生満足度調査に対する取組みにも工夫を行い、学生の満足度向上に努めます。研究については、引き続き、研究環境の整備と産学官の連携に基づく共同研究の推進、外部資金の獲得及び研究倫理の遵守に取り組みます。社会連携に関しては、尚絅食育研究センター、尚絅子育て研究センター、尚絅ボランティア支援センターの活動を活性化するとともに、尚絅地域連携推進センターの機能強化を図り、社会的貢献の諸活動を推進し、本学の地域社会での存在感をさらに高めます。また、生活科学部・食物栄養学科・幼稚教育学科と附属こども園の教職員を中心に担われている尚絅食育推進プロジェクトの推進や現代文化学部が中心となるいるくまモン学プロジェクトを全ての取組みとする計画においては、組織の充実を図りながらさらに研究活動を推進し、研究成果を発信します。グローバル化推進については、大学7号館のグローバルラウンジの最大限の活用を図り、グローバル化推進センターの体制を強化します。

○IR及び自己点検

IR及び自己点検に関しては、大学内外のデータの収集分析に努めて大学の適切な運営を支え、第3期に入った認証評価における内部質保証の課題に適切に対応できるよう、外部評価を含めた点検評価を実施します。特に、評価においては成果と課題を共有し、PDCAサイクルが効果的に回るよう努めます。

3. 尚絅中学・高等学校

令和3年度は、コロナウイルス感染症等による環境変化、また、それに伴う急速なICT教育の進展、2022年からの新学習指導要領の実施など目まぐるしく変化する教育界において、今までの事業計画を踏まえて、さらなる事業内容の充実と新しい事業の取り組みを以下のように策定しました。

○特色ある教育の確立

特色ある教育の確立については、「建学の精神」「教育理念」を基に、ICT教育の充実等による魅力ある授業の確立やコロナウイルス感染拡大防止の観点に留意しながら学校行事を工夫し、新しい生活様式の中、様々な取り組みを通して知識・技能・思考力等のバランスの取れた生徒の育成に努めると共に、新学習指導要領の内容を踏まえ、学力向上及び教師の指導力アップを念頭に置き、生徒が満足する授業改善に取り組みます。また、徳育・情操教育・女子教育の充実を図り、これから新しい社会に向けて必要な能力が身につく取り組みを行い、グローバルな社会で活躍できる人材育成を目指します。

○教育の質向上

教育の質向上については、生徒に「何ができるようになるか」という具体的な目的を明確に示すことにより「何のために学ぶのか」という学習の意義を生徒が自ら考えるような授業展開を行います。その為に新学習指導要領に対応したカリキュラムを確立するとともに、タブレットを用いた授業内容や教育の質の向上のためのプログラム作成、また、オンライン学習の研究を深め、新しい生活様式を取り入れながら学校行事や課外活動、広報活動に取り組みます。また、生徒の将来に深く関わるキャリア教育の充実に努め、これから社会で活躍するために必要な資質の向上を目指した人材育成に努めます。

○学生支援の確立

生徒支援の確立については、令和2年度に改正された就学支援金制度の内容を視野に入れて、生徒が安心して学べるように経済的に就学困難な生徒への各種制度を充実させると共に、育友会・同窓会・後援会との連携を一層深めて生徒の日常の学業・課外活動等の支援体制を整えます。

○地域貢献の充実

地域貢献の充実については、社会のニーズに応じて環境活動や地域社会に積極的に参加できる人材を育成すると共に、地域に開かれた学校として学校の特色を活かした地域の行事の参加、ボランティア活動、及び各種大会を主催して地域への活性化に貢献します。

○学習意欲あふれる生徒の確保

学習意欲あふれる生徒の確保については、女子の総合学園として短大・大学への内部進学を希望する生徒募集に力を入れると共に、様々な生徒を広く受け入れるためにコース毎の魅力を再構築します。また、特待生制度を見直し、県下一円の地区から幅広く志願者を募ります。公立小学校・中学校に加えて学習塾や地域、保護者広報部との連携を深め、広報活動の充実を図ります。

○学校評価

学校評価の意義と目的を全職員が理解して、学校運営に反映させ、より良い学校作りに活かします。

4. 尚絅大学短期大学部附属こども園

附属こども園では、「認定こども園教育・保育要領」等3法令の改訂等に沿った教育・保育の充実に努め、在園児保護者及び地域保護者の支援を行っています。教育・保育は目標達成をめざし、尚絅らしさを生かして改善・充実に努めています。「尚絅らしさ」とは、「子どもの発育にふさわしい自然の風景をそのままに生かし、創造し、環境の構成(教育的な意図)を図り、子どもの心身の発達を助長しているところ」と考えており、今後もこのことを軸に教育・保育を進めています。

昨年度より2年計画で、教育・保育の「全体的な計画(教育課程)」を見直し、「食育の計画」「給食の計画」等と連動させ、年間行事を改善した経営・管理を実践しています。

○子育て支援の充実

近隣地域は人口が増加しており、少子化や幼児教育の無償化の影響は少ないものの、本園の魅力を高め広報・啓発していく努力は必要だと考えます。そのために、在園児保護者も地域保護者にとっても安心できる子育て支援を「どんぐりルーム」を中心に充実させていきます。

○教育・保育の指導力向上

近年、特別な配慮を必要とする園児や支援を要する保護者が増え、園児の安全性の確保はもとより、発達特性に応じた教育・保育の対応力、保育者数の確保、療育との連携、保護者の相談等の課題が多くなり、重要性を増しています。

○地域連携の拡充

今後、学校法人としての社会貢献度を高めるためにも、学校評価を生かして改善し充実した教育・保育を実践すると共に、地域社会や自治体・教委・小・中学校・諸機関との連携も推進していきます。



尚絅大学・尚絅大学短期大学部 イベント情報

オープンキャンパス2021

開催日 7月18日(日)、7月25日(日)、8月1日(日)

対象:高校生及び受験希望者とその保護者

申込:事前予約制。下記のQRコードもしくは本学ホームページより申し込み可能です。

(お申込みが多い場合、参加希望日変更のお願い、もしくはお断りをする場合がございますのでご了承ください。)

内容:学部・学科紹介、入試説明、キャンパスツアー

(学部・学科の学び等の説明や2022年度入試説明、学校施設紹介を予定しております。)

実施場所:九品寺キャンパス

【大学】 現代文化学部文化コミュニケーション学科、生活科学部栄養科学科

【短期大学部】 総合生活学科、食物栄養学科

武蔵ヶ丘キャンパス

【短期大学部】 幼児教育学科

申込フォームは
こちらから



新型コロナウイルス感染症禍等の状況により今後変更等を行うことがあります。

詳細は、本学ホームページをご確認いただけますようお願いいたします。

【お問い合わせ先】 入試センター TEL:096-273-6300 FAX:096-273-6781 E-mail:nyushi@shokei-gakuen.ac.jp

尚絅大学・尚絅大学短期大学部 YouTube公式チャンネルを開設しました!

本学の魅力や特色ある教育・研究を広く紹介する目的で、本学YouTube公式チャンネルを開設しました。

様々な動画を随時投稿していくので是非ご確認ください。



尚絅中学・尚絅高等学校 イベント情報

オープンスクール・入試説明会

	開催日	時間
オープンスクール	第1回	7月10日(土) 9:30~
	第2回	8月7日(土) 9:30~
	第3回	9月5日(日) 9:30~
ナイト説明会	第1回	10月8日(金) 18:30~
	第2回	12月3日(金) 18:30~
	第3回	12月16日(木) 18:30~
入試説明会	第1回	11月13日(土) 9:30~
	第2回	11月20日(土) 14:00~



対象:小中学生とその保護者

申込:事前予約制。各中学校から又はホームページより申込み可能です。

内容:学校紹介・コース紹介・部活動紹介・入試説明、校舎見学、個別相談

場所:尚絅中学・高等学校(九品寺キャンパス)

申込フォームは
こちらから



※なお、状況によって中止、または開催方法等の変更の可能性があります。変更する場合は本校ホームページでお知らせ致します。

※個別の学校案内、web個別相談はホームページから随時申込可能です。

【お問い合わせ先】 中高事務室 TEL:096-366-0295 FAX:096-372-8341 E-mail:jhjimu@shokei-gakuen.ac.jp